

SDG (持続可能な開発目標) について知っていますか?

SDG について?

Sustainable (持続可能な)
 Development (開発)
 Goals (目標)

2030年までに、持続可能で
 よりよい世界を目指す国際目標のこと。
 17のゴールと169のターゲットから
 構成され、発展途上のみなさん、
 先進国を含む、全世界が一丸となって
 取り組んでいく必要があります。
 誰一人取り残さない
 地球上の Leave No One Behind
 ことを誓っています。

SUSTAINABLE
 DEVELOPMENT
 GOALS



最近、ニュースやテレビなどで何かし
 りにする「SDG」どんなものか
 知っていますか? SDGには、
 17個の目標があります。今、世界には
 16個目の平和と公正をすべての人
 についてまじりました。今、世界には
 どんな問題があるの? 私たち
 できることは? ということをまじり
 てみました。この新聞が少しでも、お
 なたの意識を変えてくれたら、幸い
 です。それでは早速16番目の目標に
 ついてまじりていきます。



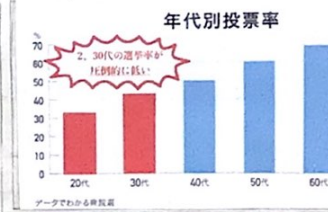
世界中の子どもの約4人に1人が紛争や災害の影響を受けている地域に住んでいる。

今なお、世界の様々な地域では、激しい紛争と暴力という負の連鎖が起きています。紛争による死者の数は、
 2012年には、10万人あたり6人の割合でしたが、2014年には、5人へと若干減少しました。しかし、この数値は、先進国と
 途上国との間で、大きな差があり、途上国での比率は先進国の2倍にもなっているのです。そして、紛争や災害の影響を受ける地域に
 暮らすと推定される子どもの数は、約5億3,500万人ほどいるといわれています。この、5億3500万人という数字は、世界中で生きているすべての子どもたちの
 約4人に1人、つまり世界の25%にも上る大変大きな割合です。そんなたくさんの子供が生まれた環境から抜け出せずに苦しめられているのです。また、子ども
 への虐待・搾取・暴力や汚職・贈賄、法的な身分証明、拘留者への措置、開かれた情報へのアクセス などなど様々な問題もあり、その多くは先進国と、
 発展途上国とで大きな差があります。そんな中、SDGの掲げている目標16「平和と公正をすべての人に」では、世界のすべての地域を対象として、紛争や暴力の
 撲滅、子どもたちの教育の徹底と虐待や暴力、不当労働をなくすこと、汚職や贈賄を無くし、フェアな仕事環境を作り出すことなど、世界中の人々が、平和と
 公正の元に生きていける世界を作ることを目指しています。世界のすべての人が平和で公正な社会で過ごせるように、私たちにできることをしていきます。

社会に関心を持ち、選挙に積極的に参加する。

私たちにできること

戦争や紛争などに苦し
 んでいる人々を救うため
 には、あらゆる争いを
 なくして、平和な世界を
 実現させることが重要に
 なってきます。そのためには
 法律などの公正な制度を誰
 もが利用できることが大切
 なります。では私たちに
 できることは何か。それは
 「社会により関心を持ち、
 選挙に積極的に参加する
 こと」です。よりよい世界
 を平和で公正な世界とす
 るためには、一人ひとりの
 行動も、私たちが自身の手
 で変えていく必要があります。
 そうい、た行動を後押し
 してくれるリーダーも重要
 になってくるからです。幸い
 なことに私たちがいる未
 来を、日本では18歳以上
 の人に選挙権が与えられ
 ています。しかし、日本の
 投票率は、53%程しか
 ありません。世界から見
 ると、圧倒的に低いのが
 現状です。特に、
 10代~20代の若い世代の
 投票率は、20%とかなり
 低いことが大きな課題で
 す。若い世代が選挙に行
 かなくて、政治家は、よ
 り票の得やすい高齢者
 向けの政策ばかりを打ち
 出している人に、支援が
 行き届かないようにな
 ってしまう



ます。そういった事態
 を防ぐためにも、私
 ち一人ひとりが、社
 会に目を向け、積極
 的に関わっていきま
 しょう。そうしてい
 くと、「平和と公正を
 すべての人に」とい
 う目標だけでなく、
 「SDG」全体の達
 成にも大きく近づく
 ことができます。真の
 意味での選挙に積極
 的に参加すると思
 います。私たちが
 変えていくために、私
 んが一人ひとりの行
 動も、私たちが自身
 の手で変えていく必
 ずです。よりよい世
 界を、平和で公正な
 世界とすること、私
 たちにできることは
 何か。それは「社会
 により関心を持ち、
 選挙に積極的に参加
 すること」です。よ
 りよい世界を、平和
 で公正な世界とす
 るためには、一人
 ひとりの行動も、
 私たちが自身の手
 で変えていく必要
 があります。そうい
 う、た行動を後
 押ししてくれるリ
 ーダーも重要にな
 ってくるからです。
 幸いなことに私
 たちがいる未来を、
 日本では18歳以
 上の人に選挙権が
 与えられています。
 しかし、日本の投
 票率は、53%程
 しかありません。
 世界から見ると、
 圧倒的に低いのが
 現状です。特に、
 10代~20代の若
 い世代の投票率は、
 20%とかなり低い
 ことが大きな課題
 です。若い世代が
 選挙に行かなくて
 、政治家は、より
 票の得やすい高
 齢者向けの政策
 ばかりを打ち出
 している人に、支
 援が行き届か
 ないようになっ
 てしまう

アンケートへのご協力
 お願い致します。

この新聞に関するアンケートを実施して
 あります。新聞を読んだ感想について
 簡単なアンケートです。お時間が
 ございましたら、ぜひお願い致し
 ます。また、アンケートの
 〆切は、2月末を目処として
 おります。なお、このアンケート
 の結果は、学校での活動報告の場
 でのみ利用させていただきます。安
 心してお答え下さい。ご家族や
 ご友人にも紹介していただくと
 幸いです。



編集後記 今日新聞を作ってみて...

E.H.
 この新聞を学校HPや地域の掲示板に掲出
 するには、まず衆院選が終わってしま
 っている... 本当は、衆院選に間に合
 ったが... 今、この新聞を読んでいる
 あなたも、この新聞が読めることを願
 っています。私の挨拶とさせていただきます。

選挙に行くって
 誰に投票すればいいか
 分からないな...

I.H.
 僕自身、この新聞を作るまで知らな
 かった。たぶん、この新聞を通じて
 色々な人にも、SDGについて知
 りてもらいたい。

T.Y.
 この新聞は、誰でも見やすいよう
 に心がけながら作ったので、ぜひ
 読んで下さい!

「NHK選挙ウォッチ」「選挙ドットコム」「JAPAN CHOICE」
 などなど、選挙に関する情報をまとめているサイトは
 多数あります。また、いくつかの質問に答えるだけで、自分
 に合った政党・候補者を教えてくれるものもあります。